



think transplant

臓器移植経験者とそのご家族のサンクスレター

Vol. 30

尊い思いが腎臓に宿っていることを忘れずに...



Title:姉さんの長いお下げ 作者名:カ・エイカイ Age:5 中国



この表紙の絵は、「子供地球基金」により提供された画材等によって世界中の子供達によって描かれたものです。

One Point ワンポイント

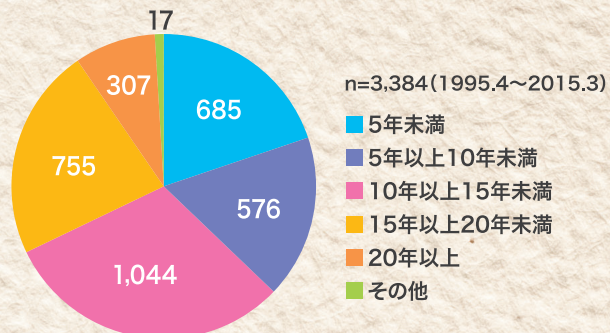
腎臓移植について

腎臓は背中側の腰のあたりに左右1つずつあり、心臓から送り出された血液をろ過して、老廃物を尿として排出します。そのため腎臓の機能が低下すると、老廃物や水分が体に溜まったり、ホルモン異常が発生して、さらに進行すると腎不全といわれる状態になります。腎不全の主な治療法は2つです。

1つ目は体内に溜まった老廃物を除去する「人工透析」。腎臓に代わって機械が体の中にある老廃物を取り除く方法ですが、病院へ週に2~3回(1回あたり4~5時間)通わなければならない、また食事や水分の摂取量も制限されています。

2つ目は「腎臓移植」です。人工透析は腎臓の代わりに機能しており腎不全を治す効果はないため、腎臓移植が根治療法となります。2016年2月1日現在12,838名の方々が日本臓器移植ネットワークに移植希望登録をされていますが、移植までの待機期間は平均14年7ヵ月と非常に長く、患者さんは人工透析を受けて移植の日を待ち続けています。

腎臓移植を受けられた方の待機期間 (脾胃同時・肝腎同時移植を含む)



皆さんの意思表示が、移植を待つ方々の希望となります。家族と話し合って、意思表示にご協力をお願いします。

マイナンバーカードでも意思表示!

2016年1月から交付が開始されたマイナンバーカードにも臓器提供意思表示欄が設けられています。臓器提供に関する意思是、健康保険証、運転免許証、臓器提供意思表示カード、インターネットでも表示することができます。

「臓器を提供する」「提供しない」どちらの意思も等しく尊重されます。意思表示の方法はグリーンリボンキャンペーンサイトをご確認ください。http://www.green-ribbon.jp/donation/



インターネットで臓器提供の意思表示ができます!

日本臓器移植ネットワークのホームページで、臓器提供意思登録ができます。登録すると、IDの入った登録カードが発行されます。本登録が完了すると臓器提供の際に、本人の意思が確認できる対象となります。

- ホームページ <http://www.jotnw.or.jp>
- モバイルサイト <http://www.jotnw.or.jp/m>



臓器移植に関するお問い合わせ先

フリーダイヤル ☎ 0120-78-1069

ホームページ <http://www.jotnw.or.jp> にもさまざまな情報が掲載されています。臓器移植 検索

JOT NW (公社) 日本臓器移植ネットワーク

死後に臓器を提供したいという人やその家族の意思を活かし、臓器の移植を希望する人に最善の方法で臓器が贈られるように橋渡しをする日本で唯一の組織です。

<http://www.jotnw.or.jp/m>

●医療機関の皆様へ

脳死後でも心臓が停止した死後でも、ご本人の意思が不明な場合、ご家族の承諾で臓器が提供できるようになりました。ドナー情報には、24時間対応しております。ご本人の臓器提供を希望する意思表示があるか、ご本人の意思が不明な場合に、ご家族が臓器提供について説明を聴くことを希望されましたら、下記フリーダイヤルにてお知らせください。

ドナー情報用全国共通連絡先 ☎ 0120-22-0149



少しでも長く
充実した日々を送れることが
みなさまへの感謝になれば。

**初めてお手紙させていただきます。
先月、腎臓をご提供頂きました子どもの父親です。**

私どもには、ドナーの方の情報は年齢と性別しか伝えられておりません。この手紙をお読みになっているのがご家族や身内の方なのか、知人友人の方なのか知る術がありません。ですが私どものお伝えしたい思いは同じです。そしてこの思いが、息子の手紙と一緒にドナーの方の傍へ届くことを願っています。

息子は移植後の経過が驚くほど順調で、拒絶反応など心配されていた症状も一切出ませんでした。このまま行けばあと数日で退院の予定です。「ここに腎臓が入ってるんだよ」と言って自分でお腹をさすっています。

息子はこれまで何度か入院経験があり、私が付き添いで泊っていました。



その度に移植を受けた方が拒絶反応と闘っている姿を見ていたので、息子の移植の時には強い父親でいようといういろいろな事に覚悟を決めていました。

ところが経過は本当に順調で、息子の苦痛の表情をほとんど見ていません。裏を返せば、それだけ息子と相性の良い素晴らしい腎臓なのだと思います。どんなにデータ上で適合率が高くとも、術後経過が良好ではなかったり、拒絶反応が強いなど、移植した臓器がうまく機能しないケースもあると聞きます。

今後は私どもの育て方に掛かっています。これからどんどん大人になっていく息子との共同作業です。今後いろいろな問題が私どもの前に現れるかと思えます。どんな時でも一つひとつ乗り越えて頑張っていこうと決意しております。

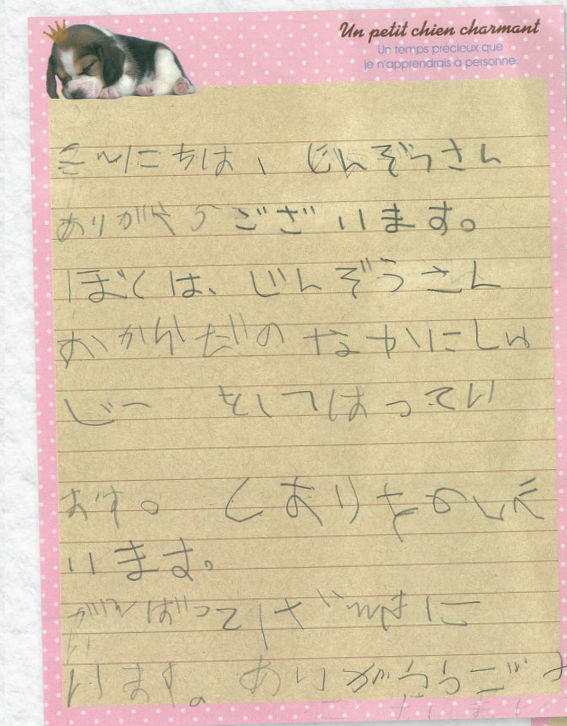
移植を受けられなければ過ごせないであろう充実した時間を、少しでも多く、息子が、そしてそれを見守る私どもが過ごせていけたらそれに勝る幸福はありません。

また、その幸福な時間は臓器提供というとても尊い行為のもとに成り立っていること、その尊い思いが息子の腎臓に宿っていることを忘れずにこれからの人生を進んでいきたいと思えます。

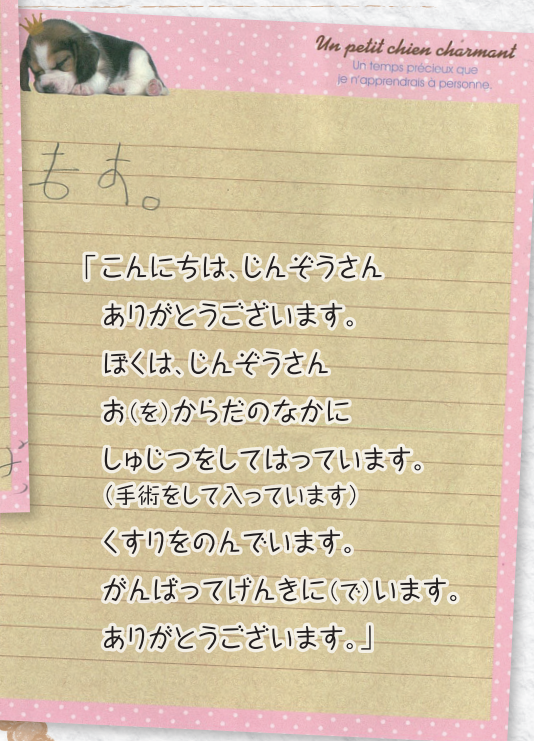
少しでも長く充実した日々を送れることがドナーの方、ご家族の方、身内の方、知人友人のみなさまへの感謝の言葉になれば幸いです。

今後の経過も含め、また連絡させて頂きたいと思えます。

この度はご提供、本当にありがとうございました。



移植を受けた男児からの
サンクスレター



「こんにちは、じんぞうさん
ありがとうございます。
ほくは、じんぞうさん
お(を)からだのなかに
しゅじつをしてはっています。
(手術をして入っています)
くすりをのんでいます。
がんばってげんきに(で)います。
ありがとうございます。」

